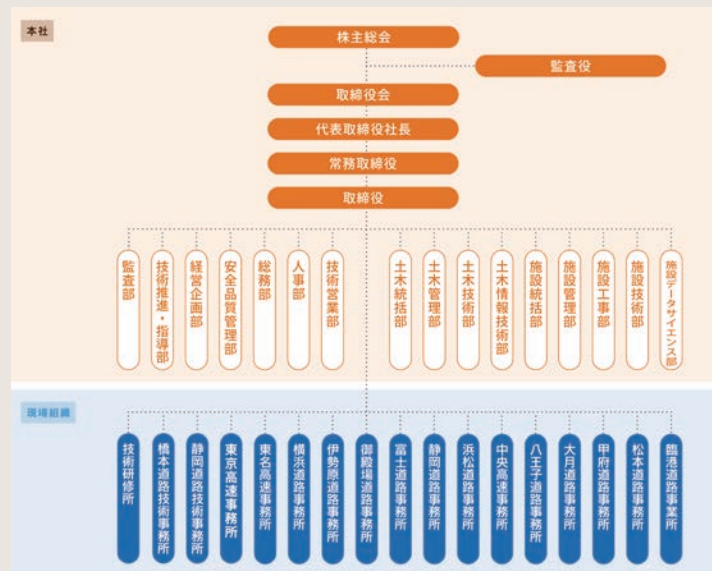


— 日本一の高速道路インフラ保全コンサルタントを目指して — 中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京 株式会社

本 社：〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目23-7
 新宿ファーストウエスト 9F
 TEL：03-5339-1711（代表）
 FAX：03-5339-1719
 URL：https://www.c-nexco-het.jp/
 社員数：1,270名（2025年10月1日現在）
 創 立：1972年
 代表者：代表取締役社長 中井 俊雄



本社入口



組織図

あゆみ

1960年代、高速道路が整備されていく中、日本道路公団の管理業務を支援する会社が必要となり、1970年代に入ると保全点検を主とする会社が設立されるようになりました。1972年に東京エンジニアリングサービス株式会社が創立されて以降、7つの会社の吸収分割・事業譲渡・再編・社名変更を経て、2007年12月に中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社が誕生しました。

企業理念と組織体制

中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社は、NEXCO 中日本グループの一員として、お客さまに安全・安心・快適にご利用いただける道路空間・サービスをお届けし、地域社会の発展と国民の暮らしの向上に貢献するために、「安全を何よりも優先し」、「最高水準の技術の提供」、「考えて行動する企業」を目指すという企業理念の基、本社16部署と事務所等17の組織体制で高速道路の保全点検・管理、コンサルティング・調査・分析、技術開発、製品販売や技術サービス等を行っています。

事業概要

当社は、1972年の創立以来、50年以上にわたる経験と技術を基に、新東名高速道路、東名高速道路や中央自動車道に加え、首都圏の環状道路である首都圏中央連絡自動車道、地域間を結ぶ長野自動車道、中部横断自動車道、地域交通を支える新湘南バイパス等11道路、897kmの高速道路の保全点検・管理を通じて、お客さまの安全・安心・快適を支えています。近年、道路構造物や施設設備の老朽化、生産年齢人口の減少や高齢化、頻発化・激甚化する自然災害等、高速道路を取り巻く環境は変わり続けています。このような課題や環境の変化に適応し、高速道路の持続的な安全をより一層向上させるとともに、地域社会の皆さまに貢献するため、24時間365日、業務に取り組んでいます。

技術伝承・技術力向上のために

高速道路の保全点検・管理の研修プログラムやOJTを通じた技術伝承等により、技術者の育成に取り組んでいます。

神奈川県相模原市に開設された技術研修所では、



トンネル覆工コンクリート点検



施設構造物変状検知システム DSCV®



構造物点検用ドローン SCIMUS



斜張橋における斜材の点検ロボット



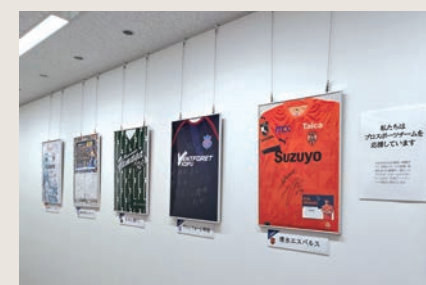
路面性状測定車「ロードタイガー」



本社野球クラブ 初出場で初優勝



社内誌創刊号と最新号（表紙）



5地域5チームを応援しています



松本山雅FC 地域交流イベント

高速道路で実際に使用されていた構造物や模型、設備の撤去部材などを配置し、実践的な研修を行っています。研修は、安全知識、土木技術、施設技術の各領域に区分され、受講者の経験年数によって、入門、初級、中級、上級と幅広いプログラムを開講し、年間で約2,000人以上が受講しています。社内・企業・大学から招いた講師や専門家による座学と意見交換、グループワーク等を通して高度な技術やノウハウを学び、プロフェッショナル集団として実際の業務に対応できるチカラを養うことができる内容としています。

トピックス

働く社員のエンゲージメント向上に向けて ～クラブ活動～

福利厚生の一環として、ランニング、富士登山、街ブラ・ハイキング、ドローンレーシング、釣り、日本そば研究、ダム研究、郷土文化研鑽、e-sportsゲーミング、サバイバルゲームなどスポーツ・文化・趣味等の84のクラブに744名（延べ1,175名）の社員が加入し、就業後や休日等に活動しています。

中でも、「本社野球クラブ」は2025年6月、建設コン

サルタンツ協会関東支部が主催する野球大会に出場し、初出場で初優勝を飾るなど活躍しています。

社員のコミュニケーション活性化に向けて ～社内誌「みちもり」の発行～

1974年9月の創刊号から2025年9月の166号まで、50年以上にわたって社内誌『みちもり』を発行しています。社内情報の共有、事務所・社員からの投稿掲載、表紙に社内フォトコンテストの作品や各事務所の特色を紹介する風景や名物の写真を掲載するなど、社員のコミュニケーション活性化の一役を担っています。

地域への貢献～スポーツ協賛～

私たちは企業価値向上の一環として、当社営業管内エリアの地域スポーツ発展への貢献に取り組んでいます。

現在、サッカー、バスケットボール、ラグビーのプロスポーツ5チームに協賛しており、各チームと連携したSDGsの取り組みや地域交流イベントへの参加を通じて、事務所・社員と地域にお住まいの皆さまとの継続的な交流の機会を得ています。（文：経営企画部 橋本 政子）